

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2013年2月号 (No. 50)

平井会計事務所 税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350
Mail:m_hirai@hirai-ao.com
URL:http://www.hirai-ao.com/

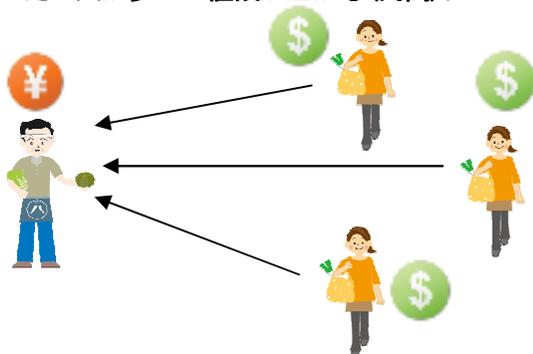
安いとなんで儲けが増えるの？為替と業績のおはなし

大胆な金融緩和政策によって、日本円が急落し輸出関連企業の業績が急回復しています。そこで今回は「自国の通貨の価値が下がると、なんで輸出のもうけが増えるの？」といった素朴な疑問にお応えします。

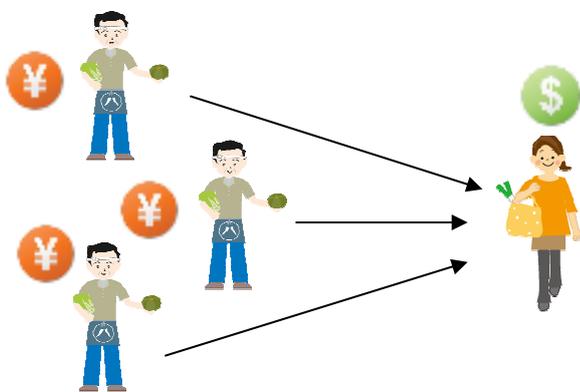
◆「円高・円安」とは？

そもそも「円高・円安」とは、こういった現象のことでしょうか。通貨はモノの売買と同じように値段をつけて交換することができます。例えば、100円を持っている銀行が「1ドルで売りたい」と声をあげて、他の銀行が「それで買いましょう」となれば取引が成立します(この値段を“相場”といいます)。取引の経過とともに値段も変化します。ちなみに買いたい人が多いと値段は上がり売りたい人が多いと値段は下がります。

<買いたい人が多い＝値段が上がる(円高)>



<売りたい人が多い＝値段が下がる(円安)>



通貨を発行する国家の健全性や安全度が他国家に比べて相対的に高いと、買いたい人が増える＝値段が上がるのが一般的です。日本の通貨の値段が他国の通貨に対して上がることを「円高」、下がることを「円安」といいます。

☆ ブログもご覧いただけただけなら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/

◆為替相場と業績

(1)輸出企業の場合

輸出企業というのは、日本でモノをつくって海外で販売するような会社のことをいいます。



例えば1台20,000ドルの車を販売した場合、1ドル=80円であれば円に直すと「売上160万円」になりますが、円安が進んで1ドル=100円になると「売上200万円」となります。同じ値段で同じ取引をしているのに“自然ともうけが増える”こととなります。

(2)輸入企業の場合

輸入企業というのは、海外からモノを買ってきて日本で販売するような会社のことをいいます。



例えば原油100バレルを10,000ドルで購入した場合、1ドル80円であれば円に直すと「仕入80万円」になりますが、円安が進んで1ドル=100円になると「仕入100万円」となります。同じ値段で同じ取引をしているのに“自然ともうけが減る”こととなります。

◆バランスが大事

ここ数ヶ月で過度な円高相場が急速に是正されつつあります。過去の水準に比べるとまだまだ是正が必要のようですが、上記のように円安で業績が悪化する企業もあるので、バランスの良い相場で落ち着いてほしいですね。

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。